

**BE
MOVED**

vol.80
令和7年3月号



株式会社ニッシンコーポレーション
社内報

フードサービス事業部

R Baker
広島HiroPa店

店長

Kazuki Higuchi

樋口 和紀

令和5(2023)年7月入社

入社(応募)経緯

令和4年10月当社経営店舗の「ミスタードーナツ祇園新道ショップ」にアルバイトとして入社したことがきっかけです。当時は他社でパン製造業務にも携わっておりました。ミスタードーナツ出勤時、たまたまヘルプで来られた《R Baker(アールベイカー)事業部》の石崎SVと出会い、広島では大変人気があり、またこれからも伸び代のある「R Baker」というブランドを紹介していただきました。当時、新しいことにチャレンジしてみたいという気持ちがあり、また丁度社員の募集もされているということでしたので、転職を決め、応募し現在に至ります。

私は高校卒業後から長い期間、アパレル業界で働いておりました。百貨店ブランドから始まり、その後ファストファッションブランドで長く勤務しておりました。これは自慢ですが、百貨店ブランド勤務時代には、個人の営業成績で何度も全国1位になりました。アパレル業界では、接客の楽しさと難しさを多く学びました。直接お客様と接するが故に、その一瞬の表情・声のトーン・言葉選びの大切さを学び、身に付けることができました。

入社以降、自慢できる成果やこだわった仕事、思い出など

アルバイトから正社員として登用された後は「R Baker 広島LECT店」に配属され、約1年間勤務させていただきました。最初はただただ不安しかありませんでしたが、私と同時期に入社された方々がいらっしゃいましたので、とても心強く、支えとなったことを今でも覚えてます。「広島LECT店」で今でも印象強く残っているエピソードは、オープン以来《1日の過去最高の売上》を更新できたときのことです。店舗スタッフ全員で一体感を持って目標達成に向け業務にあたり、結果を残せたことは、今でも忘れられません。そして最も印象深いことは、現在の配属先である「R Baker 広島HiroPa店」の新店舗立ち上げに携われたことです。人事も、社員の一次面接・PAさんの採用まで任せていただきました。現在一緒に仕事をさせていただいている方々は、私の自慢でもありますし、その方々の成長が私のモチベーションとなっております。

前職での実績やエピソードなど



入社以降の挫折経験や失敗体験など

一番は、パン作りの難しさに何度も心が折れそうになったことです。

パン製造経験があるとはいえ、前職で経験したのはパン工場のライン上の一部の作業だったため、未経験に等しいものでした。はじめからすべての工程のパン作りを経験したことがなく、なかなか思うにはいきませんでした。

そんな時期を乗り越えてこられたのは、同期入社の岡本(真人)さん・山本さんの存在があったからこそ感謝しています。

お二人はパン作りの経験が豊富で、私が困ったときにはその知識や技術をもとに的確なアドバイスをしてくれました。

今でもこの仕事を続けられているのは、辛い時期に切磋琢磨し成長できたからだだと自負しております。



INTERVIEW

フードサービス事業部
R Baker
広島HiroPa店

ひくち かずき

樋口 和紀



学生時代の武勇伝や打ちこんだことは？

小学校1年生から高校までバスケットボールに打ち込んでおりました。

幸い所属していたチームが強かったこともあり、何度も全国大会に出場することができました。



趣味やプライベートの過ごし方

時間があれば本を読むようにしております。

特に決まった作家さんやジャンルはなく、小説、ビジネス、エッセイ、コミックなど年間100冊近くは読んでおります。

書店に行き、本選びをするのも楽しみのひとつです。



こんなところがすごい & 改善ポイント

入社後一番に感じたことは、トップとの距離がとても近いということです。

今までの会社では、直接社長とお話をする機会はほぼなく、それが当たり前だと思っておりました。

そのため、当初は驚きや戸惑いもありましたが、直接お考えやご意見を伺えることや、自分の想いもお伝えできることは、本当にいいことだと思いました。

仕事に対する意気込み・想い

まだまだ未熟で、パンの知識や技術も全く伴っておりませんが、謙虚さを忘れず日々の営業活動に努めて参ります。

目標

「パンは美味しく、接客も最高のお店」

当店の認知度をもっともっと広げて、
たくさんの方々に
わざわざ足を運んでいただける
お店を目指して頑張ります！



拠点REPORT

ダスキン 矢原支店

【所在地】 山口県山口市矢原1437-15

【営業時間】 8:30~17:30

昭和53(1978)年4月に開設した「ダスキン日進山口営業所」を移転を契機に支店化し、令和6(2025)年7月に「ダスキン矢原支店」として、新たに運営を開始しました。



メンバー構成

社員6名、PA14名の計20名とハーティ(委託)11名

事業・店舗の特色

衛生用品レンタルの《クリーンサービス事業》、家事手伝いとお掃除の《メリーメイド事業》、害虫獣駆除の《ターミニックス事業》に加え、昨年7月に山口市朝田より山口市矢原へ移転した際、新たにプロのお掃除の《サービスマスター事業》に加盟し総合店として移転オープンしました。

たくさんの方に協力を頂き、移転1年目を無事プラス成長で乗り切ろうという所です。

支店長

JINYA SHIRAISHI

白石 仁也
さん



STAFF 紹介

矢原支店のマザーボード的な存在。長年事務を担当しており矢原支店の全てを知り尽くしています。困った時は皆、自然と宮崎さんを頼り、宮崎さんに聞けば大丈夫と思っているはず。また、体調が良くないときなどでも表に出す事なく、いつも明るく振舞えるような心の強い方です。私自身も、とても宮崎さんを頼りにしております。

ITSUKO MIYAZAKI
宮崎 伊都子さん



手に持っているのは、運氣上がる招き猫です^^

事業所用、家庭用とレンタル業務を担当してもらっています。どの事業のキャンペーン告知もいつも真剣に取り組み、お客様紹介数はニッシンコーポレーションNO.1なのでは?と思うほど沢山の紹介を獲得してくれています。また、千里眼を持っているかのように人の気持ちを察する事にとても優れてます。周りの人の心境の変化や気持ちの浮き沈み等に対しての気遣いがとても上手な方です。

KYOKO HORI
堀 京子さん



事業・店舗の強み

ベテランと若手が上手く融合し、スタッフ一人ひとりが温かい方ばかりです。社員には部署による縦割りを行わず、全員が支店の取り扱い事業の一連の流れを経験し、ワンストップでお客様に提案が出来るよう運営しております。また、現在営業社員の平均年齢が32歳と非常に若い事から今後の更なる飛躍に期待が出来ます。



事務メンバー



シャトルメンバー

今後の目標

営業社員を中心に一人ひとりが自ら考え行動出来る。そうやって各人が強みを発揮し成長出来るような支店になれるよう、日々精進中です。在籍しているスタッフが将来、矢原支店で働いて良かったと思えるようなお店作りを目標とします。

集合写真





PRESIDENT COLUMN VOL.80

感応道交とは 仏と人間の気持ち・または教える者と教えられる者の気持ちが通じ合い融合すること
～全従業員の気持ちをひとつに～

ライバルは自分自身

「自責」と「他責」という言葉があります。

このふたつは、《問題が起きたときにその原因をどのように捉えるか》という考え方の違いです。

「自責」は自分の責任として捉えること

「他責」は責任の所在は他人や環境など自分以外として捉えることです。

自身の周りで物事がうまくいかない時に、まず人のせいにするのではないのでしょうか。

会社であれば、

上司がしっかりしていないから…、部下が言う事を聞かないから…、ライバルが多いから…、商品が売れないのは価格が高いから…、人がいないから…、機械が古いから…などと、すべてを他責として捉えてはいないだろうか？

家庭でも、夫が〇〇だから、妻が〇〇だから、子供が〇〇だから、母が、父が…という具合に、言い出すとキリがありません。

どんな環境であっても、問題を前向きに捉え乗り越えている人は存在します。

「責任を背負う」「責任を取る」という言葉は、否定的にも聞こえ、重荷に感じる方もいるでしょう。

それならば主体的に「自ら責任を担う」「自ら責任を果たす」というように肯定的に捉えてみるのはどうでしょうか。

その上で「どのように対処していくか」と考えると、大概の事は解決に向かっていきます。

まず自分の事として捉え、自分自身に負けないという姿勢が大切であり、どんなときもライバルは常に自分自身なのだと思えます。



先日、私の大好きなイチロー氏(※)がMLB(メジャーリーグベースボール)の野球殿堂入りをしました。メジャーリーグでプレーした全選手の1%強しか選ばれない荣誉あるアメリカ野球殿堂に、日本人はもちろんアジア人として初の殿堂入りを果たしたのです。

イチロー氏の言葉を紹介します。

「今の自分があるのは、人との比較ではなくて自分の中で少し頑張っただけ。人の倍も頑張ることなんて、とてもできないんですよ。

あくまでも測りは自分の中にある。

自分の限界を見ながら、それをちょっと超えていくということを繰り返してきた。」

「ライバルがどうだとか、周りがどうだとか言う事は関係なく、全て自分の事と捉え、常に自分の限界から少しだけ頑張ることを続けている。」

皆さんにはどうか、

【最強のライバルである自分自身に負けないでほしい】と思っています。

勿論私自身も、自分へのエールのひとつとして肝に銘じています。



※イチロー（本名：鈴木 一朗）は、愛知県西春日井郡豊山町出身の元プロ野球選手。愛称は「THE WIZARD」。2018年よりMLBのシアトル・マリナーズで会長付特別補佐兼インストラクターを務めている。

Wikipediaより引用させていただきました

編集後記 自責思考が強すぎると、自分を責めすぎて精神的に追い込まれてしまう可能性や、周囲に頼ることができず自己完結して物事を考えてしまうこともあります。逆に他責思考が強すぎると、当事者意識が薄く、改善・成長の機会を失いやすくなる可能性があります。まずは心身を健康に保ち、本来の意味で自律し、目標を持つことが大切かもしれません。仕事を通して成長し、人生が豊かになると良いですね。

褒められたで賞

社内表彰

感動賞

50期第3四半期

令和6(2024)年
10月～12月



ダスキン末武中支店
サービスマスター事業部
竹中 三枝さん

お客様の声

今日の作業全般早くて丁寧、キレイに仕上がって本当に気持ちよく嬉しくなりました。またワックス乾燥中の待ち時間でも玄関付近の草引きをされたのを見て、本当に感謝しています。ありがとうございました。

本人受賞コメント

いつも、相手の立場に立って仕事をする事を心がけています。数ある清掃業者の中からダスキンを選んで仕事を依頼して下さった事に感謝し、少しでもお客様が喜んで頂けるよう仲間と協力しながら仕事をしています。今回は床のワックスが乾く間、何か出来ることは無いかと思い、玄関周りの目に付いた草を抜くことにしました。それを見て下さっていたお客様が、喜んで下さっていたと知ってすごく嬉しいです、励みになりました！



これからも、お客様の立場に立ち、少しでも喜んで頂けるような仕事ができるよう努力していきたいと思えます。

大橋さん

ミスタードーナツ
シーモール下関
ショップ

森岡店主



感動事例

奥様と娘様が、菓子折りを持ってお礼に来て下さいました。

聾者のご夫婦のお客様が数名と店内飲食されている際にご主人が意識を失っているところを大橋さんが発見し、すぐにお客様のもとに行くのと救急隊員と話をしてたお連れ様が電話を替わってほしいとのことで、電話を替わり状況説明。救急隊と話をしている間に、森岡が商業開発に連絡をし応援要請。救急隊到着までの間ご夫婦の娘様から電話があり救急隊に引き継ぐ。次の日に奥様と娘様が菓子折りをもってお礼に来て下さいました。

森岡店主受賞コメント



この度、感動賞を受賞でき大変嬉しく思います。普段から働きさんとのコミュニケーションをとり、周りを見る事を意識していた事で発見する事ができたと思います。これからも、安心・安全で快適な空間をお届けできるよう頑張っていきたいと思えます。

大橋さん受賞コメント

お客様がご無事で本当に安心しました。なによりお礼にご足労いただいたことに感動しました。

お知らせが遅れましたが、INSTAGRAMアカウント開設しました!

ダスキン 幡生支店

 Instagram
是非フォローを
お願い致します

FOLLOW US

社内から
盛り上げて
いきましょー!

フードサービス事業部や
グループ会社の各店舗アカウントの
フォローも宜しくお願ひします!



突然ですが 「ダスキン」社名の由来をご存知ですか?

創業者の故鈴木清一氏は社名を「そうきん」にしたかったという逸話があるそうです。自分が汚れて相手をキレイにするという想いを込めたのですが、社員が猛反対したため、英語でホコリを意味する「ダスト」に、そうきんの「きん」を付けて「ダスキン」という社名になったそうです。

絶えず前進し、人々の心を動かし続ける
そして、日本中、世界中の人に感動の渦を巻き起こそう

株式会社ニッシンコーポレーション

発行担当：経営管理部 藤川

社内報に関するご意見・ご要望がありましたら

お気軽にお知らせください

掲載情報もお待ちしています

recruit@nissincorp.com

